

「紹介受診重点医療機関」に指定 道井洋吏^医 師 招聘で外科手術を強化

社会医療法人医翔会 札幌白石記念病院 理事長

野中 雅氏

北の
フロントランナー
2024
明日を拓く



〈のなか ただし〉1959年生まれ、支年。余市町出身、63歳。函館ラサール高、札幌医大卒。市立釧路総合病院(脳神経外科部長)、札幌医大脳神経外科准教授などを経て、2009年4月に札幌白石記念病院の前身である白石脳神経外科病院に勤務(副院長・脳血管内治療センター長)。12年4月に院長、14年7月に理事長に就任。日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医など。

23年8月に「紹介受診重点医療機関」の指定を受け、地域の医療機関からの依頼で専門的な検査や手術などに重点を置いている。高度(高次)画像診断では、北大と連携し、その画像レポート(診断結果)も作成。循環器の治療では、不整脈のカテーテル・アブレーション治療に加え、23年8月に心臓血管外科の権威である道井洋吏医師を招聘、外科手術の強化を図った。

一方、脳疾患では、24時間365日の救急医療を提供し、「脳血栓回収術」の件数は札幌市内でトップクラス。21年には「一次脳卒中センター」のコア施設に指定され、脳卒中の治療後の相談窓口を23年5月に開設した。

「脳卒中は治療だけでなく、病後の生活のサポートが大切」。また「MRIやCTなど重装備の診断機器を持たない病院やクリニックに画像診断を提供することで、地域医療に貢献できれば」という。